



## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日  
東

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所  
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	17,353	△3.4	1,079	△17.0	1,206	△7.3	933	10.5
2019年9月期第3四半期	17,963	0.2	1,300	△10.1	1,302	△8.6	844	△29.7

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 894百万円(103.6%) 2019年9月期第3四半期 439百万円(△69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	38.10	37.76
2019年9月期第3四半期	34.31	34.04

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	34,027	29,997	87.6
2019年9月期	34,557	29,907	86.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 29,807百万円 2019年9月期 29,764百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	12.00	—	21.00	33.00
2020年9月期	—	14.00	—		
2020年9月期(予想)				24.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△10.0	1,300	△30.2	1,400	△25.0	1,300	13.9	53.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	26,085,000株	2019年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	1,589,772株	2019年9月期	1,599,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	24,490,792株	2019年9月期3Q	24,600,184株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心とした先端計測技術・機器の導入とソフトウェアを中心とした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け当社製品のユーザー開拓にも注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による自粛ムードや感染拡大の第2波への懸念等が根強く、引き続き国内外経済は先行き不透明な状況で推移しました。

この結果、当社グループの経営成績につきましては、連結売上高は新型コロナウイルス感染拡大による販売遅れの影響を受け173億5千3百万円（前年同四半期比3.4%減）となり、この内、国内取引高は164億7千2百万円、中国や米国向けを中心とした海外取引高は8億8千万円となりました。

利益面では、営業利益10億7千9百万円（前年同四半期比17.0%減）、経常利益12億6百万円（前年同四半期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億3千3百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。

## (情報通信／情報セキュリティ)

情報通信におきましては、5G（第5世代移動通信システム）の開発や検証ニーズに応えるよう積極的な投資を行っており、国内大手通信事業者からの5Gの試験装置の販売は堅調に推移しています。さらに、注力しているローカル5G向け試験装置の販売も増加しました。高速イーサネットに対応したネットワーク性能試験装置の販売も順調に推移していることに加え、国内大手企業から受注した自社製品SYNESISの大型案件も納入できました。情報セキュリティにおきましては、売上は前年並みですが、経費削減により増益となりました。増収を見込んでおりましたが新型コロナウイルス感染拡大の影響（以下、感染拡大）により、一部案件が遅延しました。この結果、売上高は53億3千4百万円（前年同四半期比21.0%増）、営業利益は4億1千3百万円（前年同四半期比85.3%増）となりました。

## (機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、自動車会社における振動・騒音など、従来の研究開発分野への投資縮小に加えて、感染拡大による購買延期や中止がありました。また受注済みの複数の大型システムについても感染拡大により、お客様の受け入れ準備の遅れやメーカーの製造遅れによる納入遅延が発生しました。この結果、売上高は39億6百万円（前年同四半期比14.2%減）、営業利益は8億1千8百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

## (物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システムのニーズは引き続き堅調でした。また、注力している電池の基礎研究分野向け自社開発システムの商談もさらに増加しています。しかし、感染拡大を受け、複数の大型案件の進捗が遅れたため受注、売上ともに減少しました。この結果、売上高は27億2千6百万円（前年同四半期比18.1%減）、営業利益は2億5千7百万円（前年同四半期比38.3%減）となりました。

## (EMC／大型アンテナ)

EMCにおきましては、主要顧客である国内外の自動車関連の受注が継続して堅調であり、民生品向けに新しく開発したEMCシステムの受注も好調です。しかし、感染拡大によりシステム設置が遅延しており、計画通りの売上増には至りませんでした。結果として受注残が大幅に増加しています。また、海外の大型システム納品後、感染拡大によって同社からの契約金回収が難しくなり、納入品の取戻しも容易ではない状況のため2億円を商品評価損として計上しました（本件については法的手続きを進めております）。この結果、売上高は25億1千5百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益は2千9百万円（前年同四半期は1千1百万円の営業損失）となりました。

## (海洋／特機)

海洋／特機におきましては、上期まで順調だった民間企業からの受注が、感染拡大によりデモンストレーションの実施が困難になるなどの原因により低迷しました。売上についても同影響により複数の案件においてメーカーからの入荷遅れによる納入遅延が発生しました。この結果、売上高は8億2千1百万円（前年同四半期比28.2%減）、営業利益は6千6百万円（前年同四半期比76.4%減）となりました。

## (ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、ゲーム業界でのテレワーク増加に伴う構成管理ツールなどの販売が増加しました。また、エンタープライズ向けのセキュリティ脆弱性検査ツールも大手システム開発会社向けサブスクリプション販売も売上増に寄与しました。この結果、売上高は12億1千4百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は1億8千3百万円（前年同四半期比21.2%増）となりました。

## (ライフサイエンス／マテリアルズ)

ライフサイエンス／マテリアルズにおきましては、医療機関向けビジネスが感染拡大によって病院経営が逼迫したことにより、大きく販売が減速しました。また、立ち上げ中の新しい電子顕微鏡ビジネスは有効な引合いが増加しているものの、受注まで至らず売上は減少しました。この結果、売上高は8億3千3百万円（前年同四半期比38.0%減）、営業損失は4千4百万円（前年同四半期は5千7百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億3千万円減少し、340億2千7百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加12億3千4百万円によるものです。一方、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少9億1千6百万円、有価証券の減少4億6千7百万円、流動資産のその他の減少1億9千6百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億2千万円減少し、40億2千9百万円となりました。主な増加要因は、流動負債のその他の増加5億7千7百万円によるものです。一方、主な減少要因は、未払法人税等の減少5億4千4百万円、賞与引当金の減少6億3千8百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9千万円増加し、299億9千7百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加7千1百万円、新株予約権の増加4千7百万円等によるものです。一方、主な減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少4千2百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響、商品評価損の発生および政策保有株式の売却見込みを検討した結果、2019年11月5日に公表いたしました予想から変更しております。詳細につきましては、本日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,914,846	4,149,598
受取手形及び売掛金	4,245,941	3,328,947
有価証券	4,163,519	3,695,624
商品及び製品	2,100,617	2,360,014
その他	768,674	572,139
貸倒引当金	△500	△400
流動資産合計	14,193,098	14,105,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,974,709	4,991,298
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,836,130	△2,903,659
建物及び構築物(純額)	2,138,578	2,087,638
車両運搬具	52,573	60,671
減価償却累計額	△39,277	△42,391
車両運搬具(純額)	13,296	18,279
工具、器具及び備品	3,698,684	3,777,648
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,883,779	△3,020,417
工具、器具及び備品(純額)	814,904	757,231
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,574,720	8,471,090
無形固定資産		
のれん	132,197	116,448
ソフトウェア	994,902	922,887
ソフトウェア仮勘定	69,488	83,917
その他	15,247	15,037
無形固定資産合計	1,211,835	1,138,291
投資その他の資産		
投資有価証券	8,156,456	8,001,140
退職給付に係る資産	533,587	538,763
繰延税金資産	604,695	479,805
長期預金	700,000	700,000
その他	699,811	706,255
貸倒引当金	△116,375	△113,924
投資その他の資産合計	10,578,175	10,312,041
固定資産合計	20,364,731	19,921,423
資産合計	34,557,830	34,027,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,394,479	1,364,277
未払法人税等	572,454	28,188
賞与引当金	871,511	233,016
役員賞与引当金	83,000	62,250
その他	1,011,169	1,588,828
流動負債合計	3,932,614	3,276,561
固定負債		
退職給付に係る負債	631,715	658,586
その他	86,400	94,840
固定負債合計	718,116	753,426
負債合計	4,650,730	4,029,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	22,115,264	22,186,272
自己株式	△1,722,992	△1,712,634
株主資本合計	29,153,771	29,235,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657,189	614,664
繰延ヘッジ損益	17,117	16,609
為替換算調整勘定	△62,367	△59,074
退職給付に係る調整累計額	△913	△228
その他の包括利益累計額合計	611,026	571,971
新株予約権	142,301	190,251
純資産合計	29,907,099	29,997,360
負債純資産合計	34,557,830	34,027,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	17,963,020	17,353,054
売上原価	9,933,981	9,917,658
売上総利益	8,029,038	7,435,395
販売費及び一般管理費	6,728,643	6,355,861
営業利益	1,300,395	1,079,533
営業外収益		
受取利息	39,998	62,673
受取配当金	47,249	50,381
有価証券売却益	2,450	—
為替差益	—	10,694
その他	42,251	22,541
営業外収益合計	131,950	146,291
営業外費用		
支払利息	2,369	2,623
為替差損	20,585	—
持分法による投資損失	41,067	15,927
和解金	65,661	—
その他	585	360
営業外費用合計	130,268	18,910
経常利益	1,302,076	1,206,914
特別利益		
固定資産売却益	16,594	21,591
投資有価証券売却益	57,954	264,826
特別利益合計	74,549	286,418
特別損失		
固定資産処分損	1,887	4,406
特別損失合計	1,887	4,406
税金等調整前四半期純利益	1,374,738	1,488,926
法人税、住民税及び事業税	462,000	412,219
法人税等調整額	68,603	143,579
法人税等合計	530,603	555,799
四半期純利益	844,134	933,126
親会社株主に帰属する四半期純利益	844,134	933,126

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	844,134	933,126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△367,960	△42,524
繰延ヘッジ損益	△32,913	△507
為替換算調整勘定	△9,945	2,869
退職給付に係る調整額	5,087	684
持分法適用会社に対する持分相当額	786	423
その他の包括利益合計	△404,945	△39,054
四半期包括利益	439,188	894,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	439,188	894,072
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	4,410,494	4,555,987	3,328,193	2,148,442	1,144,356
セグメント利益 又は損失(△)	223,314	979,993	417,008	△11,737	282,174

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	1,030,630	1,344,915	17,963,020
セグメント利益 又は損失(△)	151,054	57,851	2,099,659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,099,659
全社費用(注)	△799,263
四半期連結損益計算書の営業利益	1,300,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	5,334,723	3,906,958	2,726,917	2,515,322	821,510
セグメント利益 又は損失(△)	413,805	818,464	257,304	29,244	66,724

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	1,214,134	833,487	17,353,054
セグメント利益 又は損失(△)	183,121	△44,673	1,723,991

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,723,991
全社費用(注)	△644,458
四半期連結損益計算書の営業利益	1,079,533

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。